

## フルミスト（経鼻生インフルエンザワクチン）のお知らせ

※別紙のフルミストの説明書をご覧ください。

❖接種日時：2024年10月11日（金）、25日（金）14：45～15：30  
10月12日（土）、19日（土）、26日（土）11：30～12：00  
（ワクチンの入荷数によっては11月以降も接種日を設ける場合があります）

❖対象：2歳以上 19歳未満（当院かかりつけの方）

❖接種回数：1回（両方の鼻の穴に0.1mlずつ噴霧）

### ❖予約受付開始日時・方法

2024年9月17日（火）18：00～

- WEB予約：24時間対応（フルミスト専用枠から都合のつく日時を選んでください）
- 電話予約：0258-33-7131 10：00～12：00／14：00～16：00
- 窓口予約：診療時間内（木・土 午後、日曜、祝日は休診です）

### ❖料金（税込）

組合員	一般
8,800円	9,680円

### 【注意事項】

- ♪ フルミストのキャンセルは基本的にできません。体調不良や急な都合により予約の日に接種ができない状況が発生した場合には必ずお電話でご連絡ください。接種日の変更は柔軟に対応致します。
- ♪ 予防接種は体調が良いときに受けましょう。
- ♪ 当日は母子手帳と予診票を必ずご持参ください。予診票はクリニックのホームページからダウンロードするか、受付窓口まで取りに来ていただき来院前に記入しておいてください。その際、体温は来院直前にご自宅で計測をしたものを予診票へ記入してください。

ご不明な点はクリニックスタッフにお問合せください。



生協こどもクリニック

## フルミスト®点鼻液（経鼻弱毒生インフルエンザワクチン）



### フルミストとは



弱毒化した生きたインフルエンザウイルスを鼻の粘膜へ吹き付けるタイプの生ワクチンです。鼻にスプレーするだけなので注射の不活化ワクチンと違って痛みがありません。不活化ワクチンは血液中に IgG 抗体を作って重症化を予防しますが粘膜への感染を防ぐことはできません。これに対してフルミストは血中 IgG 抗体だけでなく鼻粘膜に IgA 抗体をすることで感染自体をブロックして発症を予防します。また、生きたウイルスによって抗体とは異なる免疫システム（細胞性免疫）を刺激することで、抗原性が変異したウイルスでも効果が期待できます。これらの効果は特に小児（2～7歳）で高く、1シーズンに渡って注射よりも長く続きます。

### 【フルミストに含まれるワクチン株：世界保健機関（WHO）の推奨株】

A 型：ルウエー/31694/2022(H1N1), タイ/8/2022(H3N2)

B 型：オーストリア/1359417/2021(ヒベトリア系統)

### 【接種対象者】

2歳以上、19歳未満

当院かかりつけ患者（ワクチン数に限りがあるため）

### 【接種回数・接種方法】

1回 ・ 両方の鼻の穴に 0.1ml ずつ噴霧（計 0.2ml）

### 【副反応】

40%の人に接種後 3-7 日まで鼻炎症状がでます。その他に発熱、感冒症状（咽頭痛、咳など）を認めることがあります。他のワクチンを同じように、稀にアナフィラキシーショックやギランバレー症候群のような重い副反応が起きる可能性もあります。



接種の様子

### ● 接種できない方、接種に注意が必要な方

別紙の予診票裏面の「フルミスト接種をご希望の方へ」をご参照ください。

特に「免疫異常、心臓、腎臓、肝臓、血液疾患などの基礎疾患」「喘息と診断されている、喘鳴（ゼーゼー）を指摘されたことがある」「卵アレルギーがある」方は、フルミストを接種してよいか事前に主治医にご確認ください。

## ● 注意事項

### 【感冒、アレルギー性鼻炎、嫌がって号泣するお子さん】

鼻汁や鼻閉がひどいとワクチンの効果が得られない可能性があるため、接種を延期せざるを得ないことがあります。

### 【他のワクチン】

今シーズン当院ではフルミストは単独での接種をお願いしています。他のワクチンとは以下の間隔をあけてください。

- ・不活化ワクチン（インフルエンザ以外） → 接種間隔をあげなくてよい
- ・生ワクチン → 4週間あける
- ・新型コロナワクチン → 2週間あける

### 【抗インフルエンザ薬】

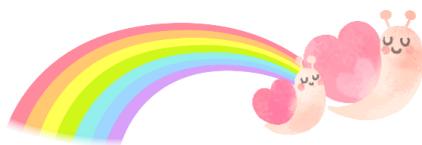
抗インフルエンザ薬（タミフル、リルザ、イベル、ゾフルザ、レピアクタなど）を投与した後3週間はフルミストの接種はできません。また、フルミストを接種した後2週間は抗インフルエンザ薬の使用は控えてください。この間隔が守られないとフルミストのウイルスが薬の作用で排除されてしまい、ワクチンの効果が得られない可能性があります。

### 【インフルエンザ罹患後の接種】

インフルエンザは同じシーズンに複数の型の流行が見られます。一度かかっても他の型に対する免疫はつきませんので、規定通りのワクチンの接種をお勧めします。

## ● フルミストをおすすめしたい方

- ・注射の痛みが我慢できない
- ・注射のワクチンでも毎年のようにインフルエンザにかかってしまう
- ・注射のワクチンの副反応が辛い（接種部位が大きく腫れるなど）
- ・受験生（発症を予防し、効果が長く続きます）



生協こどもクリニック

## 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)の接種をご希望の方へ

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)の接種を実施するにあたり、接種を受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、裏面の予診票にできるだけ詳しくご記入の上、医師の診察をお受けください。

なお、お子さまの場合、健康状態をよく把握している保護者の方がご記入ください。

### ワクチンの効果と副反応

本ワクチンはインフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種後に体の中で増えたワクチンウイルスに対する免疫ができ、インフルエンザウイルスの感染を予防します。

一方、本ワクチンの接種に伴う副反応として、鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛などがみられることがあります。また重い副反応としてショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など)や、海外ではベル麻痺を含む脳神経障害、脳炎、けいれん(熱性けいれんを含む)、ギラン・バレー症候群(手足に力がはらない、しびれ、食べものが飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど)、血管炎(発熱、頭痛、倦怠感、紫斑、紅斑など)などが報告されています。

なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた方または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

詳しくは独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)をご覧ください。

### 予防接種を受けることができない方

- 1) 明らかに発熱している方(通常は37.5℃を超える場合)
- 2) 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 3) 過去に本ワクチンに含まれている成分で、アナフィラキシー(通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のひどいじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと)を起こしたことがある方
- 4) 明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの方、免疫抑制をきたす治療を受けている方
- 5) 経口または注射の副腎皮質ホルモン剤を使用している方
- 6) 妊娠していることが明らかな方
- 7) その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した方

### 予防接種を受ける際に医師と相談していただく方

- 1) ゼラチン含有製剤またはゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など)などの過敏症を起こしたことがある方
- 2) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある方
- 3) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- 4) 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方
- 5) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、または近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 6) 重い喘息のある方または喘鳴の症状のある方
- 7) 薬の服用または食事(鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもの)で発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方
- 8) 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている方
- 9) 妊娠中または妊娠の可能性のある方(接種前1か月間避妊していない方)、授乳中の方
- 10) サリチル酸系医薬品(アスピリンなど)、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用している方

### 予防接種を受けた後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後は、ショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など)が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 接種当日は過激な運動は避けてください。また、健康状態に十分注意し、体調の変化、高熱などの異常な症状を呈した場合には、すぐに医師の診察を受けてください。なお、接種当日の入浴は差支えありません。
- 3) 妊娠が可能な方は、接種後2か月間は妊娠をしないように注意しましょう。
- 4) 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう。

あなたの接種予定日	医療機関名
<p>月 日 ( ) です。</p> <p>当日は受付に 時 分頃 おこしてください。</p>	